

■ 構造計算適合性判定の円滑化のために、申請者（設計者）は下記の共通事項について、再確認をお願いします。

OKBC 判定用 チェックリスト（確認済項目にチェック印を入れて申請書に添付）

2017.12.1

一般財団法人 大阪建築防災センター

共通事項	確認済の場合は □ にチェック印 (☑) または ■ を入れて下さい。	連絡事項など
1 構造計算適合性判定申請図書 ※正式受付時の申請図書は正副各1部です。ただし、*1は正のみ添付	<input type="checkbox"/> 構造計算適合性判定申請書（一面～三面）	確認申請書と整合されたもの
	<input type="checkbox"/> 委任状(*1)	構造計算適合性判定の代理人は構造設計者でも可
	<input type="checkbox"/> 建築計画概要書（第3号様式）(*1)	普通紙のコピー可
	<input type="checkbox"/> 建築主事等による留意事項	審査機関の構造質疑応答書可
	<input type="checkbox"/> 意匠図（下の1.～8.）	
	1. 付近見取り図	
	2. 配置図	
	3. 各階平面図	
	4. 床面構求積図（確認申請書第六面の棟ごとの集計根拠）	
	5. 仕上表	
	6. 立面図（2面以上）	
7. 断面図（2面以上）		
8. 地盤面算定表		
<input type="checkbox"/> 構造図一式 （基礎伏図・各階床伏図・2面以上の軸組図・構造詳細図・部材表・使用構造材料一覧表・基礎地盤説明書・施工方法等計画書）		
<input type="checkbox"/> 構造計算書一式		
<input type="checkbox"/> 安全証明書(*1)	規則第3条の7 第1項第四号による場合	
<input type="checkbox"/> 既存不適格調書	法第86条の7の規定を適用する場合	
2 電算出力関係	<input type="checkbox"/> 電算出力等の縮小印刷（2頁を1枚に印刷）、または、文字の重なり等により判読できない出力は避けている。	
	<input type="checkbox"/> 電算出力の通り符号、部材符号は、原則として構造図と合わせている。	
3 計算書の作成ほか	<input type="checkbox"/> 構造計算書および追加説明書の冒頭には、計算書全体の構成がわかる目次を添付している。（設計内容がわかる小項目を含む）	
	<input type="checkbox"/> 構造上の特徴、構造計算方針等は、可能な限り構造計算書の冒頭部分に添付している。	
4 追加説明書の作成	<input type="checkbox"/> 確認申請書類の構造計算書（電算出力）と追加説明書の電算出力は、出力形式を一致させている。	※構造計算適合性判定の追加説明書の作成時をお願いします。
	<input type="checkbox"/> 追加説明書の回答一覧は、追加説明を求める書類と一緒に送付したエクセルシート等を活用し、回答欄には、検討内容や修正事項、参照ページ等を記載している。また、設計図の修正箇所には、マーキングを行っている。	
5 整合性の確認	<input type="checkbox"/> 意匠図、設備図と構造図の整合性は確認済である。	適合性判定は構造図を正として審査します。
	<input type="checkbox"/> 構造図と構造計算書の整合性は確認済である。	適合性判定は構造計算書を正として審査します。 抜取りで重大な不整合（階高、スパン、モデル化、大幅な荷重変更等）があれば、審査を中断し修正図書の再提出により、審査を再開することになります。
6 梁貫通孔補強	<input type="checkbox"/> 構造図、補強計算書共添付している。	適合性判定の対象とします。
	<input type="checkbox"/> 構造図、補強計算書共添付していない。	既製品を用いる場合は、構造図として標準図等添付（計算書は決定後に提出することを記載）のうえ、後日、確認機関で審査を受けてください。（在来補強も同じです）
	<input type="checkbox"/> 梁貫通孔はなし。	
7 告示1458号による屋根ふき材の検討	<input type="checkbox"/> 屋根ふき材の計算書は添付している。	適合性判定の対象とします。
	<input type="checkbox"/> 屋根ふき材の計算書は添付していない。	後日、確認機関で審査を受けてください。
	<input type="checkbox"/> RC造であり該当しない。	
8 告示1458号による外装材、ガラスの検討	<input type="checkbox"/> 外装材、ガラスの計算書(建具表とも)は添付している。	適合性判定の対象とします。
	<input type="checkbox"/> 外装材、ガラスの計算書は添付していない。	後日、確認機関で審査を受けてください。
	<input type="checkbox"/> 高さ13.0m以下であり該当しない。	
9 杭の施工偏心検討	<input type="checkbox"/> 杭の施工偏心は考慮していない。	実測結果により確認機関と協議してください。
	<input type="checkbox"/> 杭の施工偏心を考慮した計算のみを行っている。	構造図の正規の杭位置での検討が必要です。実測結果により、検討内容と異なる偏心を生じた場合には、審査機関と協議してください。
	<input type="checkbox"/> 杭打ち基礎ではない。	
10 その他 各部材の納まり等	<input type="checkbox"/> S造柱梁接合部で、通しダイアフラム間隔は適切に確保されている。	ウェブの隅肉溶接長 $l \geq \text{Min} (40\text{mm}, 10S)$ Sは隅肉サイズ ダイアフラム間隔が100mm以下は要注意です。
	<input type="checkbox"/> S造柱梁接合部で、通しダイアフラム厚さは梁フランジ厚の2サイズアップ以上である。	
	<input type="checkbox"/> S造角形鋼管柱梁接合部で、内ダイアフラム部に付く梁は、コーナーール部を避けた接合としている。	
	<input type="checkbox"/> RC造梁（S造の基礎梁を含む）で、1段に並ぶ主筋本数に問題はない。（特に柱の外周と同一面に取付く場合）	
	<input type="checkbox"/> RC造柱梁接合部で、主筋の被り、あき、水平投影定着長さ等は確保されている。（特に多段配筋の場合）	